

令和8年度実施浜松市立小・中学校教員採用選考試験 第1次選考試験 筆記試験における設問不備とその対応について

令和8年5月9日（土）に、令和8年度実施浜松市立小・中学校教員採用選考試験第1次選考試験筆記試験を実施した。試験問題について確認したところ、問題として不適切であることが判明した。

1 小学校選択教科「家庭」について

(1) 概要

令和8年5月9日（土）の試験終了間際に、受験者から試験問題について指摘があり、確認したところ、問題として不適切であることが判明した。

(2) 当該教科及び問題等

選択教科

令9 (小) 家庭 その1 / 2

1 「小学校学習指導要領解説 家庭編（平成29年7月）第2章」に示されている家庭科の目標及び内容について、以下の問いに答えなさい。

(2) 「A（4）家族・家庭生活についての課題と実践」に関する記述として誤っているものを、次の

①～⑤の中から一つ選んで番号で答えなさい。解答番号は93。

① 実践的な活動を家庭や地域などで行うことができるよう配慮する。

② 「A（2）家庭生活と仕事」又は「A（3）家族や地域の人々との関わり」、「B衣食住の生活」、「C消費生活・環境」で学習した内容と関連を図る。

③ 1学年で一つ又は二つ以上の課題を設定して履修させる。

④ 学校や地域での実践が難しい場合には、実践の場を学校に求める。

⑤ 課題設定、計画、実践、評価・改善という一連の学習活動を重視する。

小学校家庭その1 問題1（2）は、記述として誤っているものを一つ選ぶ問題で、正答は選択肢③としていたが、選択肢④を「家庭や地域での実践が難しい場合は、実践の場を学校に求める」とすべきところを、「学校や地域での実践が難しい場合には、実践の場を学校に求める」と表記したため、文脈としてふさわしくない文章になっていた。

(3) 対象受験者の人数

224人（うち、家庭を選択した者は131人）

(4) 解答について

当該問題については、③または④を正答とする。

2 中学校教科専門「理科」について

(1) 概要

令和8年5月13日(水)に、受験者から教員採用試験中学校理科の問題について、メールにて指摘があった。受験者が調べたところ、2択のいずれも解答として正しいのではないかと思う問題があるので、確認してほしいという内容であった。確認したところ、問題として不適切であることが判明した。

(2) 当該教科及び問題等

令9 (中)理科 その26/26

(3) 以下は、地球全体での大気の循環を理解した一郎さんと花子さんの会話である。文中の()に入る語句や数字の組み合わせとして適切なものを、次の①～⑧から一つ選んで、番号で答えなさい。解答番号は $\boxed{77}$ 。

一郎：私たちの住む日本は、大気の循環のおかげで、季節によってそれぞれ特徴的な天気になるね。
花子：そうだね。それに、温暖で、年間の降水量が多くて、豊富できれいな水を得ることができるんだね。
一郎：地球の表面の約(ア)は水でおおわれているけど、そのほとんどは海水で、陸上の生物が生きていくために必要な淡水・真水は約(イ)%になるんだね。
花子：しかも、そのほとんどは北極や南極、山間部にある水と、深いところにある地下水なんだ。
一郎：そうすると、人間が利用できる水は、湖沼や河川の水と、浅いところにある地下水で、その量は地球の水全体の約(ウ)%にすぎないんだね。
花子：その恩恵をもたらすものは、気象現象による降水や降雪だね。

- | | | | |
|---|--------|-------|--------|
| ① | ア 4分の3 | イ 7.5 | ウ 0.01 |
| ② | ア 4分の3 | イ 2.5 | ウ 0.01 |
| ③ | ア 4分の3 | イ 7.5 | ウ 0.10 |
| ④ | ア 4分の3 | イ 2.5 | ウ 0.10 |
| ⑤ | ア 3分の2 | イ 7.5 | ウ 0.01 |
| ⑥ | ア 3分の2 | イ 2.5 | ウ 0.01 |
| ⑦ | ア 3分の2 | イ 7.5 | ウ 0.10 |
| ⑧ | ア 3分の2 | イ 2.5 | ウ 0.10 |

中学校理科その26 問題8(3)は、(ア)～(ウ)の中に当てはまる正しい語句の組み合わせを一つ選ぶ問題で、正答は選択肢⑥としていたが、受験者の指摘にあるように地球の表面の約71.1%は水でおおわれているという根拠となる資料もあるので、⑤～⑧3分の2(約66.7%)、①～④4分の3(約75%)のどちらとも言えないため、問題として不適切であったと判断した。

(3) 対象受験者の人数

17人

(4) 解答について

当該問題については、(ア)は全員正解とし、(イ)及び(ウ)の解答により②または⑥を正答とする。

3 中学校教科専門「家庭」について

(1) 概要

問題の再点検を実施したところ、令和8年5月20日(水)に問題作成者から根拠としていた資料の他に、解答になり得る資料があるとの報告があった。確認したところ、問題として不適切であることが判明した。

(2) 当該教科及び問題等

令9 (中) 家庭 その 6/19

15 和食について、以下の問いに答えなさい。

(4) 次の文章を読んで正しいものを、次の①～④の中から一つ選んで答えなさい。解答番号は26。

東京の大学に通うAさんは、さまざまな都道府県出身の友達がおり、それぞれの郷土料理について教えてもらうことにしました。

- ① 長野県出身のBさんの話「長野はからしれんこんが有名だよ。ごはんを食べるとおいしいよ。」
- ② 和歌山県出身のCさんの話「和歌山は柿の葉寿司が有名だよ。お寿司が柿の葉で包まれているんだよ。」
- ③ 石川県出身のDさんの話「石川は、治部煮が有名だよ。江戸時代にうまれた料理だよ。」
- ④ 新潟県出身のEさんの話「新潟はいも煮が有名だよ。寒い時には体があつたまるよ。」

中学校家庭その6 問題15(4)は、①～④の中から、正しいものを一つ選ぶ問題で、正答は③としていたが、教科書では奈良県の郷土料理と記載されていた②の柿の葉寿司は、和歌山県の郷土料理でもあるという根拠資料もあるので、問題として不適切であったと判断した。

(3) 対象受験者の人数

8人

(4) 解答について

当該問題については、③または②を正答とする。

4 対応について

- (1) 対象者となる受験者には、電子メールにて概要及び対応を連絡した上で、浜松市ホームページへ掲載する。
- (2) 第1次選考試験の結果発表は、当初の予定どおり6月19日(金)に行う。

浜松市教育委員会といたしましては、受験者をはじめ、関係者の皆様に深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。